

平成23年度

特定非営利活動法人 **子どもの森**

総 会 議 案 書



日 時：平成23年4月24日（日）9時30分～

場 所：森<sup>もり</sup>の学舎<sup>まなびや</sup>

# 総 会 次 第

1. 開会のことば
  2. 議長選出
  3. 議事録署名人任命
  4. 資格審査報告
  5. 報告事項
    - I. 平成22年度活動経過報告について
    - II. 、、 収支決算報告について
    - III. 監査報告
  6. 議案
    - I. 平成23年度活動方針（案）について
    - II. 、、 収支予算（案）について
    - III. 役員改選
  7. 議長降壇
  8. 閉会のことば
- お楽しみ会（11：30～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川

## はじめに

5 昨年度は、協働を意識した活動を進めてきました。7年間の子どもの森の活動を通して、それぞれの団体単独では、その想いを形に  
10 することの難しさを感じていました。一方、企業や他の団体と協働し活動した時には、容易に形になっていく実感がありました。

10 同じ想いを持つもの同士が一緒になって活動や事業を進めて行くことが、地域の問題解決にとって有効な手段であり、宮崎県の委託  
15 事業である「協働商談会開催事業」が、子どもの森の感じている協働を地域に広げることができる事業であることから、昨年度に、宮崎県生活・協働・男女参画課と協働して「協働創出市 2010～協働商  
20 談会（県北地区）想いを”かたちに”」を開催しました。32団体（NPO・ボランティア団体14、行政7、企業5、労働団体2、  
25 その他4）73人の参加がありました。この協働商談会開催事業を通して、地域において協働の考え方が浸透していくことを期待しています。この「協働商談会開催事業」は、報告ヒアリングを行った  
30 結果、今年度も子どもの森で開催することになりました。

20 今年度に計画をしている子どもたちを対象にした継続的な環境学習（エコ・スクール）の準備として、門川町行政との協働として  
25 「食と環境の関係を考える協働モデル事業」を、宮崎県市町村振興協会からの助成を受けて実施しました。協働への温度差もあり、なかなか思うように役割分担もできませんでした。協働で事業を進めるのは難しいものだと感じました。協働は、想いだけが先走ること  
30 のない様に気をつけてなければなりません。協働した行政職員には、環境の事を考えた行政サービスを進めて行ってもらいたいと考えています。

30 森づくりでの協働としては、妖精の森での「竹林の整備」が、ローソン緑の募金事業として認定され、株式会社ローソン社員と地域のローソン店舗から17人の方が参加して実施できました。

35 今年度の活動においても、企業や他の団体、学校や労働団体と一緒に協働を意識した森づくりや環境体験型学習、自然交流活動を進めて行きたいと思えます。

# 報告事項Ⅰ．平成22年度活動経過報告

## 1. 事業の成果

- 5 ①環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう森に学ぼう、春を楽しもう）を実施することで里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ②環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の常時活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- 10 ③森林環境セミナーの実施にて、環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアと、森づくり活動を自らコーディネートするリーダー的ボランティアの育成ができた。
- ④平成18年度から引き続き森林の再生活動（門川高等学校演習林）と一昨年度から始めた竹林の整備の実施にて、森林環境の保全活動ができた。
- ⑤五右衛門風呂設置等により、森の学舎（活動拠点）の充実が図れた。
- 15 ⑥食と環境の関係を考えるワークショップ型協働モデル事業により、行政や地域住民との協働事業ができた。また次年度に予定している仮称エコスクールの活動ノウハウが蓄積でした。
- ⑦協働商談会事業（協働創出市2010）を企画開催することで、地域の行政や企業とNPO等の協働を推進することができた。
- ⑧Webページと広報紙の発行により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。
- 20

## 2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

### （1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

- 25 ① 川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）
- ・実施日：平成22年8月1日
  - ・実施場所：森の学舎（門川町大字川内字イカダ場3412-1※以下省略）と五十鈴川
  - ・参加者：42人（うち子供21人）、スタッフ：9人
  - ・実施内容：親子を対象に、ネイチャーゲームで自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学んだ。この体験を通して、豊かな森と水を含め環境を守るために参加者が自分で出来ることを見つけることができる。
  - ・助成等：門川町まちづくりプレイヤー支援事業。
- 30
- 35 ② 山菜料理と椎茸菌コマうち体験（春を楽しもう）
- ・実施日：平成23年3月21日
  - ・実施場所：森の学舎
  - ・参加者：11人（子供4人）、スタッフ：4人
  - ・実施内容：森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し食べるだけの量を収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学んだ。
  - ・実施内容：椎茸菌のコマをコナラの原木に摂取した産業体験を実施した。
- 40

### （2）中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

- 45 ① 水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生事業（GOCANの森下草刈り）
- ・実施日：平成22年6月19日、10月23日
  - ・実施場所：門川高校演習林（門川町大字川内字中山1102-1）
  - ・参加者：12人（6月19日）、12人（10月23日）
  - ・実施内容：台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図りために、平成18年度に門川高校生と協働して広葉樹を植樹したフ

ィールドの下草刈を実施した。10月23日は、門川高校生8人と協働しての下草刈りを実施した。

・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業。

5 ② 放置竹林の広葉樹林への復元活動（仮称妖精の森の竹伐採）

・実施日：7月10日、11日、8月28日、29日、9月19日、20日、10月23日、11月1日、14日、12月9日、23日、25日、29日、30日、平成23年1月4日、9日、29日、30日、2月6日、3月5日、21日

・実施場所：森の学舎裏の竹林（門川町大字川内字イカダ場3400-7）

10 ・参加者：延べ105人

・実施内容：手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、竹を伐採して伐採後の空間に竹棚を作り、昨年度に竹を伐採し広葉樹の植樹をした空間に広葉樹を捕植樹した。伐採した竹は粉碎機でチップにして、堆肥と森の学舎グラウンドの一部に散布した。また、枯れて倒れていた竹は竹棚に積んでいった。12月9日は、企業（株式会社ローソン社員、近隣のローソン店舗の店長と従業員）からの参加が17人あった。

・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業、国土緑化推進機構特定公募事業。

20

(3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

① 森林を活用した体験型啓発活動（森で過ごそう森に学ぼう）

・実施日：平成22年11月14日

・実施場所：森の学舎

25 ・参加者：23人（子供13人）、スタッフ：5人

・実施内容：樹木の二酸化炭素吸収量を測定し樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることが学習した。また、参加者がドングリを自宅で苗木へと育てるために、ドングリの竹ポットを作った。自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知ることで、自然環境を理解する啓発活動となった。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。

30

・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業。

(4) 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

35 ① 食と環境の関係を考えるワークショップ型協働モデル事業

・実施日：8月9日、9月4日、5日、10月2日、3日、11月7日、12月4日、5日、11日、12日、23日、平成23年1月10日、16日、23日、2月10日

・実施場所：森の学舎と宮崎県北地域

40 ・参加者：子どもの森会員3人、門川町行政3人、労働団体1人、一般参加者4人

・実施内容：行政と労働組合、地域住民と協働して、パンづくりを通して食と環境の関係を考える活動を行った。パンを焼くまでに、塩・バター・酵母・小麦粉などは参加者で手作りしてパン窯も製作した。参加者は、各職場や各地域において、習得した環境に対する問題意識を啓発普及する。

45

・助成等：宮崎県市町村振興協会の協働モデル事業。

② 森づくりボランティアの養成（森林環境セミナー）

・実施日：平成23年2月6日、20日、27日

・実施場所：森の学舎

50 ・受講者数：16人、スタッフ：2人、講師：5人

- ・実施内容：森づくりに参加したことの無い方へ、森づくり活動の必要性を訴え活動に参加できる人材を養成した。森林生態と救急救命・機械道具の講習・自然保護と森林資源活用についてを学習した。

森づくりのための森林生態学（宮崎大学農学部准教授 高木正博さん）

森づくりボランティアの紹介（横山理事長）

森づくりでの安全管理（安全技術指導員 岩田幸生さん）

森林資源の活用（キノコの栽培）（横山理事長）

チェーンソー・刈払機などの山林作業機械の使用法（林業従事者 松本哲也さん）

緊急救命講座（福岡県災害ボランティア連絡会幹事・NPO法人日本防災士会福岡県支部長 竹下裕一さん）

樹木観察・森づくりと自然保護（宮崎植物研究会会長 南谷忠志さん）

- ・助成等：宮崎県のNPO・ボランティア活動人材・体験プログラム開発事業の継続事業で宮崎県社会福祉協議会の助成事業。

### ③ 協働商談会事業（協働創出市2010）

・実施日：平成23年2月9日

・実施場所：クリエイティブセンター門川

・参加団体：32団体（73人）

・実施内容：県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催をした。

・助成等：宮崎県生活・協働・男女参画課の委託協働事業。

## （5）活動の情報発信・啓発のための事業

### ① Webサイトの運営

・実施時期：平成22年4月～平成23年3月

・実施内容：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月5～6回のWebページ更新にて情報発信して行った。1日平均21件のWebページ（トップページ）の閲覧があった。

### ② 機関紙の発行（子どもの森通信7号）

・発行月：平成22年5月

・実施内容：子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信」をA4サイズ8ページで発行をして情報発信ができた。

### ③ 事業案内チラシの作成

・実施時期：各事業の開催2ヶ月前

・実施内容：宮崎県や宮崎県教育委員会の後援をもらい、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成した。

## （6）その他目的を達成するために必要な事業

### ① 環境文庫

門川町まちづくりプレイヤー支援事業により、森の学舎の常時活用としての環境文庫に新たに40冊の新刊をそろえることができた。

### ② 子どもの森のPR活動

5年間にわたり支援を受けているイオン黄色いレシート・キャンペーンにおいて、同キャンペーンの普及発展と子どもの森のPRを、ロックタウン日向店（4月11日）とホームワイド財光寺店（12月11日）に実施した。

③ 森の学舎の活用としての施設開放

- ・個人への1日開放（8月8日）
- ・ボーイスカウト延岡第4団のファミリーキャンプ大会&上進式（8月21日、22日）
- ・地域をわくわく元気にする会（延岡）主催の「松木正さん講演会」（2月20日）

④ 森の学舎の環境整備（5月～6月）

- ・二つ目の五右衛門風呂制作
- ・道具整理用棚の作成
- ・流し横に棚の設置
- ・炊事棟への流し台設置
- ・箱めがね棚設置
- ・堆肥（刈り草）置き場
- ・西門川小学校松瀬分校案内板の復旧
- ・グラウンドの草刈

3. 助成金など

(1) 宮崎県森林づくり活動支援事業（宮崎県森林環境税）

仮称妖精の森の竹伐採（竹林の整備）・高校生とのGOCANの森下草刈り・体験型環境学習（森で過ごそう森に学ぼう）の事業費346,499円に対して、235,000円の助成を受けました。

(2) 緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構緑）

仮称妖精の森の竹伐採（竹林の整備）をするための樹木粉碎機の購入代金と事業に必要な資材費の半額（85万円）を仮払いで受けました。購入した樹木粉碎機を使って、平成21年度に伐採して処分できていなかった竹と昨年度に伐採した竹をチップに粉碎できました。竹チップは、森の学舎グラウンドの一部への散布と日向の自然農法従事者が堆肥として活用しました。今年度8月までが、緑の募金特定公募事業の事業期間であり、助成の総額は、170万円が予定されています。

(3) 門川町まちづくりプレイヤー支援

旧西門川小学校松瀬分校（森の学舎）の有効活用として、環境文庫と体験型環境学習（川をたのしく親しもう）、水道管修理の資材費として、事業費321,445円に対して、20万円の助成を受けました。



協働商談会（協働創出市2010）



MRT環境賞の受賞式

(4) 積水ハウスマッチングプログラム助成

特定の事業への助成ではなく、子どもの森の事業を実施するための財政強化のために、20万円の助成を受けました。この助成は、一般管理費とイオン黄色いレシートキャンペーンを利用した子どもの森PR活動に使いました。

5

(5) 連合愛のカンパ

森づくりや体験型環境学習だけでは、森の学舎の十分な有効活用ができないため、森の学舎の常時活用と環境啓発の発信を目的として環境文庫の運営のために30万円の助成を受けました。他の助成で購入した図書や環境文庫の備品購入の自己負担額に充当しました。

10

(6) 宮崎県NPO・ボランティア活動人材育成・体験プログラム開発事業

環境問題への取組のひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアと、森づくり活動を自らコーディネートするリーダー的ボランティアを育成する「森林環境セミナー」への助成です。この事業は、平成20年度に実施した「森づくりボランティア養成セミナー」の継続事業で、宮崎県社会福祉協議会からの助成事業として、事業費321,299円に対して、30万円の助成を受けました。

15

(7) イオン黄色いレシートキャンペーン

黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、ホームワイド出北店・マックスバリュース南延岡店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の1%が団体に物品または商品券が寄贈されます。昨年度は、38,150円の物品と47,276円の商品券が寄贈されました。商品券については、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。寄贈された物品は、子どもの森座版・文房具・トイレットペーパー等の消耗品でした。

25

(8) 環境g o o (株式会社NTTレゾナント)

パソコンや携帯から「ポータルサイト緑のg o o」を利用することで、g o oが得た収益の一部を、地球温暖化対策などの環境保護活動を行うNGOやNPOに寄付が行われています。昨年度において、その寄付先に子どもの森が選ばれ、45万円の寄付をいただきました。この寄付は、運営費の財政強化として今年度への繰越金としました。

30

(9) 協働商談会開催事業委託費 (宮崎県生活・協働・男女参画課)

宮崎県北の行政や企業とNPOとの協働事業を推進するためのマッチング事業である協働商談会(協働創出市2010)を実施するために、666,770円の委託費収入がありました。委託費収入の内60,797円が事務経費となりました。この事務経費は、一般管理費と各種助成事業での自己負担額に充当しました。

35

(10) MRT環境大賞 (MRT宮崎放送)

7年間にわたる里山での森づくり・環境学習・廃校活用など子供たちを中心にした環境活動を幅広く展開してきたことが評価され、MRT環境賞の最高賞である大賞を受けました。副賞として賞金30万円をいただきました。

40

(12) 事業収入と一般寄付

環境プログラム(川をたのしく親しもう、森で過ごそう、春をたのしもう)の参加費、森林環境セミナーの受講料、森の学舎開放の収入、理事からの寄付で、総額57,815円がありました。この事業収入と一般寄付は、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

45

#### 4. その他

(1) 新聞やTV等で、子どもの森の活動他の紹介が、下表の様にありました。

MRTラジオ	エココロカフェ※取材あり（横山理事長） 川をたのしく親しもう	8月8日放送
	エココロカフェ※取材あり（横山理事長） MRT環境大賞	12月5日放送
	バリッと朝！～ボランティア・ワールド（横山理事） 活動紹介と協働創出市	H23年1月18日生放送
MRTテレビ	MRTニュースネクスト MRT環境大賞（子どもの森の活動紹介）	11月23日放映
わいWaiTV	森で過ごそう！森に学ぼう！	11月17日放映
宮日新聞	募ってます「川をたのしく親しもう」参加者	7月16日掲載
	募ってます パン作りワークショップ参加者	7月21日掲載
	森の学舎	きゅんと122号掲載
	生き物みーつけた	8月7日掲載
	手作り材料でパンを	9月8日掲載
	募っています「森で過ごそう！森に学ぼう！」	11月7日掲載
	広葉樹林再生を目指す	12月20日掲載
	五感感じるパン完成	H23年2月8日掲載
	活動PRし情報交換	H23年3月4日掲載
夕刊デイリー	8月1日に川をたのしく親しもう（告知）	7月12日掲載
	森で過ごそう！森で学ぼう！（告知）	10月26日掲載
	MRT環境環境賞にこどもの森	10月29日掲載
	2月に森林環境セミナー（告知）	12月23日掲載
	協働創出市の参加団体募集	H23年1月11日掲載
毎日新聞	今年度MRT環境賞「子どもの森」に大賞	10月29日掲載
日本財団 CANPAN-NEWS (Webサイト)	宮崎の自然、美しい森を次の世代に受け継ぐために ※平成21年12月の取材分	6月24日アップ
	「子どもの森」がMRT環境賞・大賞を受賞	12月9日アップ
広報かどがわ	森で過ごそう！森に学ぼう！参加者募集	10月

#### 5 (2) NPO等委託・助成事業への公募

子どもの森で初めてとなる「協働商談会開催事業」の他にも、過去に企画が不採用となった県の委託事業「こども地球温暖化防止活動推進事業」について、企画コンペ（2010年度実施分）に参加しましたが、子どもの森の事務局体制では事業遂行能力が不足していると判断され不採用となりました。

10

#### (3) 臨時総会

「協働商談会開催事業」を実施するために定款の改定と事業の承認が必要になったために、10月13日にクリエイティブセンター門川で、委任状も含め18人の正会員の出席により臨時総会を開催しました。定款が、市民活動の活性化に関わる企画とコーディネート事業に携われるように改定となりました。

15

#### (4) みやざき森づくりボランティア協議会の研修等への参加

宮崎市高岡で開催された刈払機の研修に、会員2人が受講しました。また、綾町で開催された森づくりシンポジウムのスタッフとして、会員3人が参加しました。

20

平成22年度事業経過一覧

月	実施日	活動名	場所	備考/内容
4	5(金)	会計監査	栃原監事宅	
	7(水)	理事会	事務局	
	8(木)	「連合愛のキャンパ」ヒアリング	連合宮崎事務所	横山理事長
	11(日)	黄色いレシートキャンペーン	イオンロックタウン 日向店	横山理事
	19(月)	理事会	事務局	
	25(日)	第9回通常総会	森の学舎	総会終了後に山野草料理
5	2(日)、3(祝) 4(祝)、5(祝) 9(日)	森の学舎整備	森の学舎 (仮)妖精の森	2号五右衛門風呂の壁 竹林の整備:タケノコ採り・竹粉碎 など
	6	5(土) 6(日)	森の学舎の整備	森の学舎
15(火)		理事会	事務局	
19(土) 20(日)		夏の下草刈	GOCANの森 森の学舎と周辺	GOCANの森:門川高校生との協 働(雨で中止)
30(水)		理事会	事務局	
7		10(土)、11(日)	竹林の整備	森の学舎
8	1(日)	川をたのしく親しもう(川をテーマにした環 境プログラム)	森の学舎 五十鈴川	川遊び、ネイチャーゲーム 他
	9(月)	食と環境の関係を考えるワークショップ型 活動(協働モデル事業)実行委員会	事務局	
	25(水)	まちづくりプレイヤー支援事業審査会	門川町役場	横山理事長
	28(土)、29(日)	竹林の整備	森の学舎	昨年度未処理の竹の整理
9	4(土) 5(日)	食と環境の関係を考えるワークショップ型 活動(協働モデル事業)	海沖 森の学舎	塩づくり
	11(土)	刈払機研修会	一里山 (宮崎市高岡)	森づくりボランティア協議会主催 横山理事、加藤
	19(日) 20(月)	竹林の整備	(仮)妖精の森	昨年度未処理の竹の整理
	21(火)	理事会	事務局	
10	2(土) 3(日)	食と環境の関係を考えるワークショップ型 活動(協働モデル事業)	森の学舎	パン窯小屋修理
	13(水)	臨時総会、理事会	クリエイティブセンタ ー門川	定款変更について
	19(火)	協働商談会開催事業の審査会	宮崎県庁	横山理事長、横山理事、金子
	23(土)	森づくりー高校生と協働ー	GOCANの森	門川高校生ボランティア
	24(日)	連合愛のキャンパ贈呈式	ホテルプラザ宮崎	横山理事、加藤
	30(土) 11/1(月)	竹林の整備(粉碎機試運転) 竹林の整備	(仮)妖精の森	昨年度未処理の竹の整備 竹棚づくり

11	5(金)	協働商談会開催事業の打ち合わせ	宮崎県庁	横山理事長、横山理事、金子
	7(日)	食と環境の関係を考えるワークショップ型活動(協働モデル事業)	森の学舎	パン窯(土台)製作
	14(日)	森で過ごそう! 森に学ぼう! (森をテーマにした環境プログラム)	森の学舎	ドングリ苗木育て、ドングリ工作、樹木の二酸化炭素吸収量の学習
	27(土)	MRT環境大賞授賞式	MRTミック	丸野副理事長、横山理事、加藤
	28(日)	森づくりシンポジウム	酒泉の杜	みやざき森づくりボランティア協議会主催
12	4(土) 5(日)	食と環境の関係を考えるワークショップ型活動(協働モデル事業)	森の学舎	パン窯製作
	11(土)	子どもの森の活動PR(黄色いレシート・キャンペーン)	ホームワイド財光寺店	横山理事長、丸野副理事長、横山理事、加藤
	19(日)	竹林の整備	(仮)妖精の森	ローソン参加による竹伐採
1	9(日)	竹林の整備	(仮)妖精の森	竹伐採
	10(祝)	食と環境の関係を考えるワークショップ型活動(協働モデル事業)	森の学舎	天然酵母学習、麦粉挽き
	16(日)			バターづくり、麦粉挽き
	23(日)			パン焼き
	18(火)	MRTラジオ出演	MRTラジオ局	横山理事
	25(火)	理事会	事務局	
	29(土)、30(日)	竹林の整備	(仮)妖精の森	堆肥置場と竹棚づくり
2	9(水)	協働創出市2010	クリエイティブセンター門川	
	10(木)	地域づくり団体等協働モデル事業報告会	第一宮銀ビル8F	横山理事長
	6(日) 20(日) 27(日)	森林環境づくりセミナー	森の学舎	
3	5(土)	竹林の整備	(仮)妖精の森	竹棚づくり、植樹準備(地拵え他)
	17(木)	理事会	事務局	
	21(祝)	植樹&春をたのしもう	(仮)妖精の森	植樹、山菜・野草料理、椎茸コマうち体験



樹高の測定



ドングリポットづくり

報告事項Ⅱ. 平成22年度収支決算報告

平成22年度 特定非営利活動に係る収支計算書  
(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

	予算額	決算額	差異	備考
<b>I 収入の部</b>				
<b>1 会費収入</b>	<b>187,000</b>	<b>116,000</b>	<b>△71,000</b>	
正会員	102,000	76,000	△26,000	正会員@5,000×14人+特別会員@1,000×1人+前年度未納@5,000×1人
賛助会員	85,000	40,000	△45,000	@5,000×8人
<b>2 事業収入</b>	<b>50,000</b>	<b>85,700</b>	<b>35,700</b>	各種参加費、森の学舎使用料
<b>3 委託事業収入</b>	<b>634,800</b>	<b>672,890</b>	<b>38,090</b>	協働商談会
<b>4 助成金収入</b>	<b>2,934,000</b>	<b>2,015,170</b>	<b>△918,830</b>	森林づくり活動、まちづくりプレイヤー支援、ボランティア活動プログラム開発、地域づくり団体等協働モデル事業、緑の募金特定公募事業
<b>5 寄付金収入</b>	<b>580,000</b>	<b>1,055,091</b>	<b>475,091</b>	連合愛のキャンパ、積水ハウス基盤、緑のgo、一般活動支援寄付、イオン黄色いレシート 他
<b>6 雑収入</b>	<b>8,000</b>	<b>308,355</b>	<b>300,355</b>	MRT 環境大賞、ネイチャー工作材料、森の学舎トイレ使用料 他
<b>当期収入合計</b>	<b>4,393,800</b>	<b>4,253,206</b>	<b>△140,594</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>554,932</b>	<b>554,932</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計</b>	<b>4,948,732</b>	<b>4,808,138</b>	<b>△140,594</b>	
<b>II 支出の部</b>				
<b>1 事業費</b>	<b>3,764,590</b>	<b>3,524,598</b>	<b>△239,992</b>	
自然体験交流	153,590	119,242	△34,348	川をたのしく親しもう、春を楽しもう
環境保全再生	1,907,000	1,671,278	△235,722	竹林の整備、GOCANの森、樹木粉碎機購入
啓発活動	52,000	56,301	4,301	森で過ごそう森に学ぼう
市民活動の活性化	1,016,000	1,025,258	9,258	森林環境セミナー、食と環境を考える協働モデル事業、協働創出市
情報発信・啓発	298,000	344,532	46,532	事業案内チラシ、子どもの森通信
その他	338,000	307,987	△30,013	環境文庫、パン窯、会員拡大活動
<b>2 管理費</b>	<b>246,000</b>	<b>247,281</b>	<b>1,281</b>	
通信費	6,000	24,155	18,155	郵便、電話料
消耗備品費	3,000	2,298	△702	文房具 他
旅費交通費	20,000	29,670	9,670	みやざき森づくりボランティア協議会 他
諸会費	3,000	3,000	0	みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	10,000	4,856	△5,144	総会、理事会
研修費	30,000	19,740	△10,260	みやざき森づくりボランティア協議会、森づくりセミナー 他
損害保険料	10,000	9,900	△100	H22.4.19～H23.3.31
租税公課	4,000	3,300	△700	助成金申請・県事業報告用
施設管理費	145,000	144,580	△420	土地代、浄化槽管理費、電気代
雑費	15,000	5,782	△9,218	振込手数料、椎茸発送費 他
<b>3 予備費</b>	<b>300,000</b>	<b>51,091</b>	<b>△248,909</b>	H21 年度セブンイレブンみどりの基金返金、ソフト購入、イーパーツへの寄付
<b>当期支出合計</b>	<b>4,310,590</b>	<b>3,822,970</b>	<b>△487,620</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>83,210</b>	<b>430,236</b>	<b>347,026</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>638,142</b>	<b>985,168</b>	<b>347,026</b>	

次期繰越収支差額の内容

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	1,467,814	424,526
未収金	200,000	173,000
前払金	904	0
合計	1,668,718	597,526
前受金	683,550	15,000
未払金	0	27,414
預り金	0	180
合計	683,550	42,594
次期繰越収支差額	985,168	554,932



川の生き物探し



そうめん流し



仮称妖精の森での竹棚づくり



環境森林セミナー



平成22年度総会



臨時総会

平成22年度 特定非営利活動に係る貸借対照表（平成23年3月31日現在）

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金		15,395	
普通預金		1,452,419	
未収金		200,000	
前払金		904	
流動資産合計			1,668,718
2 固定資産			
機械及び装置	1,583,400		
減価償却累計額	△412,457	1,170,943	
固定資産合計			1,170,943
資産合計			2,839,661
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金		683,550	
流動負債合計			683,550
負債合計			683,550
III 正味財産の部			
基本金		619,987	
当期正味財産増加額(減少額)		1,536,124	
正味財産合計			2,156,111
負債及び正味財産合計			2,839,661

平成22年度 特定非営利活動に係る財産目録（平成22年3月31日現在）

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	15,395	
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,147,278	
普通預金	九州ろうきん延岡支店	305,141	
未収金	門川町まちづくりプレイヤー支援	200,000	
前払金	カンパニメント・システム使用料	904	
流動資産合計			1,668,718
2 固定資産			
機械及び装置	チッパーシュレッダー（新ダウ CSE50-W）	253,050	
	チッパーシュレッダー（大橋 GS121GB）	1,330,350	
減価償却累計額		△412,457	1,170,943
固定資産合計			1,170,943
資産合計			2,839,661
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	23年度会費	10,000	
	セブンスレブソみどりの基金	673,550	
流動負債合計			683,550
負債合計			683,550
正味財産			2,156,111

※チッパーシュレッダーの減価償却について

- 5 ・新ダウ CSE50-W 耐用年数：8年 償却方法：定率法 償却率：0.25 当該年度償却月数：12ヶ月  
 ・大橋 GS121G 耐用年数：8年 償却方法：定率法 償却率：0.313 当該年度償却月数：6ヶ月

## 報告事項Ⅲ. 監査報告

### 監査報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

#### 監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 収支計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

平成23年4月 / /日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事

柄原孝行



5



仮称妖精の森での補植樹



山菜の収穫（春を楽しもう）

10

## 議案 I . 平成 23 年度活動方針—(案)—

### 1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 農林漁業は、食料など農海産物を生産するだけでなく、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養（かんよう）、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境にとって欠かせない役割を果たしています。これらの役割を総称して、「多面的な役割」又は「多面的機能」と呼んでいます。

農林業の多面的な役割は、各国の自然条件や農林業生産の内容によっても異なりますが、日本の場合には中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのが特徴です。

10 たとえば、中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダム役割を果たし、下流の都市を洪水から守ります。また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。そして、漁業は河川や海の自然環境が悪化したら敏感に影響を受ける産業です。

15 私たちの食料を生産する生活の根本的な産業である自然環境の中で培われている農林漁業や里山等の自然体験交流を通して、自然環境の大切さを知るための啓発的な活動を行います。

#### (1) 川を活用した自然体験交流

・開催日：8月

・参加数：親子30人

20 ・場所：森の学舎と五十鈴川

・内容：ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であること、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学ぶ。

25 ①「森の学舎」の前に流れている五十鈴川で魚や蝦捕りをして、川で暮らす生き物の名前を覚える。生き物の名前を覚えることで、自然環境に興味と親しみがわき、自然環境の大事さを感じることができる。

②川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施する。川の自然と人間生活が密接に関係していることを学習する。

・助成：なし。

30 ※ネイチャーゲームは、フェニックス宮崎ネイチャーゲームの会よりネイチャーゲーム・リーダー2名の派遣を依頼します。

#### (2) エコ・スクール

・開催日：6月～翌年2月（計8回）

35 ・参加数：県北地域の小学生20人

・内容：パン作りによる食と環境についてを切り口に、自然環境を遊びや観察、農業等の原体験を通して、自然環境の大切さと保全の必要性を学習する。

①導入として、ネイチャーゲームを体験して、身近な植物、生き物、森林について五感を通して自然の大切さを知る。

40 ②導入として、宿泊キャンプを行う。一日目は竹でイカダを作り、釜戸で炊飯をし、五右衛門風呂を沸かして入浴をする。夜は環境学習をする。二日目は、竹のイカダで川を下りながら川の清掃をする。

③海沖で海水を汲み、釜戸で沸かして塩を作る。また、船長さんから海の話聞いて、今と昔の海の環境の違いを学習する。

45 ④休耕作地を麦畑に変え、小麦の種を蒔く。※麦畑の育てた小麦は次年度のエコスクールで使用する。

⑤パンの材料である天然酵母を身近な食材であるイチゴで作る。イチゴは、近辺のイチゴ農家でイチゴ狩りをする。

⑥パンの材料であるバターを、近辺の乳牛農家で生乳を搾りから手作りする。

50 ⑦石臼で小麦を挽いて、手作りの塩・天然酵母・バターを使い石釜でパンを焼く。

・助 成：セブンイレブンみどりの基金

## 2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

5 人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進  
を図るため、杉と広葉樹の（針広）混交林（子どもの森1号地）と門川高校演習林災害後の再生  
（GOCANの森）、森の学舎裏山の竹林の整備（妖精の森）の森づくりを行なっています。  
今年度も引き続き、会員・一般参加者・門川高校生・森林ボランティア（森林サポーター）等に  
呼びかけ、継続した森づくり活動に取り組んでいきます。また、市町村に広報を依頼して参加  
者を募集すること、企業や各種団体に出向いて森林づくりへのボランティア参加をお願いして  
10 行きたいと思いをします。

### （1）子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要  
がなくなってきました。昨年度は、現状調査は行いましたが、下草刈り等の森づくり活動を実  
15 施していません。下草刈以外の育林作業を所有者と話し合いボランティアで実施できることを  
検討したいと思いをします。

### （2）GOCANの森

門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹）をした門川高校実  
20 習林の下草刈を昨年度に続き、会員と一般参加者の募集、門川高校に高校生のボランティアを  
依頼し6月に実施します。下草刈終了後に森の学舎で、素麺流し等の昼食会を行ないたいと思  
います。

この事業は、森林づくり活動（宮崎県森林環境税）の助成を受けて実施していきます。

### （3）妖精の森

25 長期計画で森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動の3年目  
となります。今年度も昨年度に引き続き伐採した竹の一部を使って竹棚で作り、粉碎機でチッ  
プとパウダーを作ります。また、伐採した竹の活用としての竹炭は、緑の募金特定公募事業  
（国土緑化推進機構）の助成事業期間の関係で次年度4月から開始したいと思いをします。そして、  
30 広葉樹を植樹したフィールドには、森の住人である妖精たちを住ませます。

竹林は、森の学舎裏手にあたる場所で、奥行き約20m程度を整備していきます。一般参加  
者や企業と各種団体に参加を呼びかけ、月に1回の宿泊による活動日を設けます。3月には、  
昨年度と一昨年度において竹を伐採した空間に、広葉樹を植樹もしくは補植樹をしていきます。

35 この事業は、竹林の整備を緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構）の助成で行い、植樹  
および補植樹を森林づくり活動（宮崎県森林環境税）の助成を受けて実施します。



ローソンとの竹林整備（仮称妖精の森）

### 3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

地球温暖化や荒れた森林、河川や海の汚染等の環境問題に関心を持ち考えてもらうために、森林等を活用した体験型啓発活動を開催します。広く参加者を募って、環境プログラム（体験型環境学習）に参加してもらい、『あなたのできること私のできること』をキーワードに、個人でも取り組める環境問題への活動に気付いてもらい、できるだけ良い自然環境を子どもたちに残していくことを、多くの人が実践してもらうための基盤整備とすることを目的とします。

#### (1) 森を活用した体験型環境学習

- ・開催日：11月
  - ・参加数：親子30人
  - ・場 所：森の学舎
  - ・内 容：樹木の二酸化炭素吸収量学習、ドングリ苗木の育て方、ドングリを使った工作、アウトドアクッキングを通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを学びます。
- ①グランドにある樹木の二酸化炭素吸収量を推定し、樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることを知る。
- ②雑木林でドングリを拾い参加者の自宅で苗木へと育てる学習と、樹木の名前の学習を通して、自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知る。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。
- ③落枝やドングリ等の自然素材を使って工作をすることで、自然環境の恩恵を遊びの中から感じ考える。
- ④参加者全員でアウトドア料理を作り昼食にする。
- ・予定助成：森林づくり活動（宮崎県森林環境税）
- ※スタッフ2人の活動指導講師を予定し謝金を予算化します。

### 4. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点で関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。

#### (1) 森づくりボランティアの養成

- ・開催日：2月（2日間）
  - ・参加数：20人
  - ・場 所：森の学舎
  - ・内 容：森づくりへの参加はもとより、森づくりに参加したことのない方へ、森づくり活動の必要性を訴え活動に誘導する人材を養成する。
- ①森づくりにおける安全
- ②山林作業機械の取り扱い
- ③森林資源の活用
- ④植物観察と自然保護
- ・予定助成：森林づくり活動（宮崎県森林環境税）

#### (2) 協働商談会事業

- ・開催日：11月
- ・参加数：40団体
- ・場 所：未定
- ・内 容：県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設け

ることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催を宮崎県生活・協働・男女参画課からの委託として行う。

・委託：協働商談会開催事業

5 5. 活動の情報発信・啓発のための事業

活動を開催日前に告知することで活動の参加者を募集したり、実施済み活動を知ってもらい子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

10 (1) Webサイトの運営

・時期：4月～翌年3月

・内容：子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月5～6回のWebページ更新にて情報発信して行く。

15 (2) 機関紙の発行

・時期：5月

・内容：子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信」を発行することで情報発信をする。

20 (3) 事業案内チラシの作成

・時期：各事業の開催2ヶ月前まで

・内容：それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成する。



高校生との森づくり（GOCANの森）



夏の下草刈り（GOCANの森）

25 6. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

18年11月に、公募により門川町から譲受を受けた旧松瀬分校は、日本財団と連合愛のキャンパからの助成金を受け、20年度に会員その他ボランティアによって修繕を進めてきました。また、みやざき森づくりボランティア協議会やボーイスカウト等への開放、森林や環境等の図書や児童書・絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行なってきました。そして、一昨年度は、セブンイレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のキャンパからの助成を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、新刊図書の購入を進めてきました。

35 行政が絡んでいない民間団体での活用は他に例がなく、森の学舎は、廃校になった学校の先進的な活用例として注目をされています。

森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティとしての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

昨年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、事業年度の次の

年度でどのような整備が必要かを検討しながらの整備計画を進めていきます。また、事業収入のひとつとして、森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をしていきます。

5 (2) 椎茸栽培

昨年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸と木耳の菌を接種したほだ木が100本あります。仮伏せと本伏せを「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、会員や協力者へ案内をして実施します。子どもの森が活動をはじめて間もない時期のほだ木からの椎茸の収穫は、ほだ木の多くが朽ちてきていますので、これからの収穫が見込めません。

10

(3) NPO等委託・助成事業への公募

さらなる活動の発展とNPO法人としての財政充実と活動した人件費の確保、これまで蓄積しているノウハウの活用ができる委託・助成事業があれば、「協働商談会開催事業」以外にも公募をしていきます。

15 昨年度公募ヒアリングに参加した「中山間盛り上げ隊派遣事業」は、子どもの森の活動とは異なる事業であるため公募はしません。過去に企画が不採用となった県の委託事業「こども地球温暖化防止活動推進事業」についても公募しません。

(4) 活動紹介のキャンペーン

20 毎月11日に、イオンの黄色いレシートキャンペーンが開催されています。昨年に引き続き、ホームワイド出北店・マックスバリュー南延岡店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウン日向店に投函ボックスの設置をお願いしていきます。

25 黄色いレシートキャンペーンの日には、投函ボックスを設置している団体が、店舗内でキャンペーン活動を行うことが可能です。黄色いレシートキャンペーンが土・日曜日と重なる日に、黄色いレシートキャンペーンを利用して会員拡大と活動紹介のキャンペーンを実施したいと思います。会員拡大と活動紹介のキャンペーンに参加した会員への人件費を予算化します。

ロックタウン日向店では、黄色いレシート投函ボックスを設置している団体のパネル展が4月より開催されます。黄色いレシートキャンペーンへの感謝の一環としてパネル展に参加します。

30

(5) 子どもの森が加盟する団体

今年も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」（会長：圖師哲夫ロキシーヒル代表）に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。

35

平成15年9月13日と14日に、第55回全国植樹祭プレイベント「悠久の森づくりボランティア全国大会」が、全国から約1500人が集り西都市を主会場に開催されました。その企画運営をするために、平成15年1月に「みやざき森づくりボランティア協議会」が誕生しました。行政ではなく、民間のボランティア団体の協議会によって開催された悠久の森づくりボランティア全国大会は、関係機関からの高い評価を受けました。それ以降は、宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。

40

今年度も、協議会が開催する総会や研修、シンポジウムへの参加や協力を行っていきます。また、昨年度に続いて横山理事長は理事として就任する予定です。

45

みやぎき森づくりボランティア協議会加盟団体（平成23年3月現在）

団体名	事務局住所
NPO 法人みやぎ子ども文化センター	宮崎市橘通西2-5-20
桜宴會	宮崎市太田4丁目3-1 パームクレストC-103
木崎浜松林を守る会	宮崎市大字熊野10321
水源の森づくりをすすめる市民の会	宮崎市下北方町戸林5262-10
どんぐり1000年の森をつくる会	北諸県郡山之口町富吉2985-26
にわたこの会	日南市鉄肥7-2-35
延岡アースディ実行委員	延岡市夏田町434-2 サニーハウス101
日向市ふるさとの自然を守る会	日向市大字財光寺5384-12
宮崎グリーンヘルパーの会	宮崎市祇園3丁目5番地 川島ビル202号
高千穂森の会	西臼杵郡高千穂町大字押方4520
ロキシー・ヒル	西都市大字三納10372-イ
MFV会	宮崎郡清武町大字加納乙320-95
NPO 法人子どもの森	東臼杵郡門川町城ヶ丘2-2
環の会	串間市大字南方1639
NPO 法人ひむか里山自然塾	宮崎市大塚台西3丁目40-10
NPO 法人ひめしゃら倶楽部	宮崎市高洲町244番地72
日本熊森会宮崎支部	宮崎県延岡市塩浜町1丁目1534-62
大塚台緑地林里山整備事業委員会	宮崎市大塚台東1丁目12-2
ふる里のどんぐり森づくり会	北郷町大字郷之原乙4743-2
NPO 法人H-i-m-a-g-i-n-e	宮崎市霧島4丁目106 複合施設ESORA内

7. 助成について

5 今年度の活動に関して助成金を申請しているのは下表のとおりです。

助成名	助成元	助成事業	助成額
セブンイレブン みどりの基金	セブン-イレブン 記念財団	エコ・スクール	67.355万円 (決定)
森林づくり活動	宮崎県森林環 境税	①「GOCANの森」下草刈 (門川高校生との協働) ②森を活用した体験型環境学習 ③森づくりボランティアの養成 ④妖精の森への植樹	24.9万円 (予定)
緑の募金特定公 募事業	国土緑化推進 機構緑	「妖精の森」竹林整備 (昨年9月～8月)	170万円(決定) (昨年度に85万円受領)
		「妖精の森」竹林整備継続 (9月～来年8月)	80万円 (予定)

昨年度に寄付を受けた環境g o oから、今年度も継続して45万円の寄付を受けることになっています。



議案Ⅱ. 平成23年度収支予算(案)

平成23年度 特定非営利活動に係る収支予算書  
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

	予算額	前年度予算額	差異	備考
<b>I 収入の部</b>				
<b>1 会費収入</b>	<b>162,000</b>	<b>187,000</b>	<b>△25,000</b>	
正会員	92,000	102,000	△10,000	@5,000×18人+@1,000×2人
賛助会員	70,000	85,000	△15,000	@5,000×14人
<b>2 事業収入</b>	<b>75,000</b>	<b>50,000</b>	<b>25,000</b>	各種参加費、グッズ売上、森の学舎使用料
<b>3 委託事業収入</b>	<b>673,000</b>	<b>634,800</b>	<b>38,200</b>	協働商談会
<b>4 助成金収入</b>	<b>2,172,550</b>	<b>2,934,000</b>	<b>△761,450</b>	セブンイレブンみどりの基金、森林づくり活動、緑の募金特定公募事業 他
<b>5 寄付金収入</b>	<b>736,500</b>	<b>580,000</b>	<b>156,500</b>	一般活動支援寄付、緑のgoo、イオン黄色いレシート 他
<b>6 雑収入</b>	<b>2,000</b>	<b>8,000</b>	<b>△6,000</b>	預金利息、森の学舎トイレ使用料 他
<b>当期収入合計</b>	<b>3,821,050</b>	<b>4,393,800</b>	<b>△572,750</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>985,168</b>	<b>554,932</b>	<b>430,236</b>	
<b>収入合計</b>	<b>4,806,218</b>	<b>4,948,732</b>	<b>△142,514</b>	
<b>II 支出の部</b>				
<b>1 事業費</b>	<b>2,460,000</b>	<b>3,764,590</b>	<b>△1,304,590</b>	
自然体験交流	761,000	153,590	607,410	川での自然体験交流、エコ・スクール
環境保全再生	868,000	1,907,000	△1,039,000	妖精の森、GOCANの森
啓発活動	65,000	52,000	13,000	親子を対象にした森林環境学習
市民活動の活性化	706,000	1,016,000	△310,000	協働商談会、森づくりボランティアの養成
情報発信・啓発	10,000	298,000	△288,000	機関紙作成、HP運営
その他	50,000	338,000	△288,000	森の学舎施設整備、PR活動
<b>2 管理費</b>	<b>275,000</b>	<b>246,000</b>	<b>29,000</b>	
通信費	25,000	6,000	19,000	郵便、電話料
消耗備品費	3,000	3,000	0	文房具 他
旅費交通費	30,000	20,000	10,000	みやざき森づくりボランティア協議会 他
諸会費	3,000	3,000	0	みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	10,000	10,000	0	総会、理事会
研修費	30,000	30,000	0	みやざき森づくりボランティア協議会 他
損害保険料	10,000	10,000	0	ボランティア保険
租税公課	4,000	4,000	0	助成金申請、県事業報告用
施設管理費	145,000	145,000	0	土地借用代、浄化槽管理費、電気代
雑費	15,000	15,000	0	振込手数料、椎茸発送費 他
<b>3 予備費</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	
<b>当期支出合計</b>	<b>3,035,000</b>	<b>4,310,590</b>	<b>△1,275,590</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>786,050</b>	<b>83,210</b>	<b>702,840</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>1,771,218</b>	<b>638,142</b>	<b>1,133,076</b>	

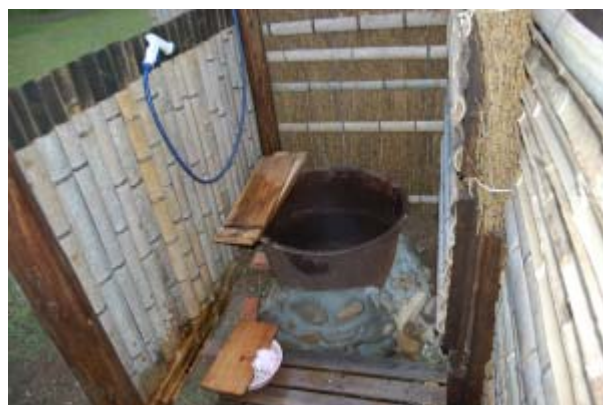
※会費 正会員：5,000円(ただし、特別会員は、1,000円。) 賛助会員：5,000円

- 5 特別会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と同一世帯で2人め以降の正会員で、総会での議決権や理事への立候補など、通常の正会員と同じ権利を有します。

議案Ⅲ. 役員改選(案)

役 職	氏 名	就任期間	報酬について
理事長	横山 謙一	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日	報酬無
副理事長	田中 公宜		
	丸野 由美子		
理 事	工藤 恵理香		
	横山 純子		
監 事	金子 恭子		

(敬称は略します)



会員名簿（敬称は略します）

横山 純子	門川町	丸野 由美子	延岡市	藤川 勝（賛助）	延岡市
横山 謙一（特別）	門川町	柏田 倬身	日向市	太田 清海（賛助）	延岡市
金子 睦子	大分県	吉田 美和子	宮崎市	太田 龍（賛助）	延岡市
中山 誠一（賛助）	横浜市	松原 和範（賛助）	北九州市	有イッホコンピュータ（団体賛助）	宮崎市
山内 清和	都農町	井本 栄一（賛助）	東京都	牧野 国広（賛助）	門川町
濱田 秀生（賛助）	横浜市	工藤 恵理香	日向市	酒井 傳	延岡市
田中 公宜	延岡市	猪須 寛司（賛助）	延岡市	加藤 美穂	門川町
峯 眞理子	延岡市	満留 紀子	西都市	兒玉 善平	日向市
請関 哲美	門川町	津野 桂子（賛助）	門川町	岩切 英子	延岡市
金子 恭子	延岡市	日高 睦雄（賛助）	門川町	徳田 純一	延岡市
猪崎 悦子	宮崎市	鶴田 済和（賛助）	愛知県		
請関久美子（特別）	門川町	ボーイスカウト延岡第4団（団体賛助）	延岡市		

機具台帳（平成23年3月31日現在）

機具	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
椎茸用ドリル	マキタ D2011	6,060	1	6,060	2005/02/10	
刈払機	マキタ MEM262	34,944	1	34,944	2005/06/09	日本財団
刈払機	マキタ MEM262L	35,404	1	35,404	2005/06/09	日本財団
エンジン・チェーンソー	マキタ ME333	32,695	1	32,695	2005/06/18	日本財団
チップ・シュレッダー	新ダイワ CSE50-W	253,050	1	253,050	2005/07/16	日本財団
エンジン・チェーンソー	マキタ ME333	32,440	1	32,440	2005/11/15	赤い羽根
椎茸用ドリル	マキタ D2011	14,200	2	28,400	2005/11/15	赤い羽根
椎茸用ドリル	マキタ D2011	15,000	1	15,000	2006/02/23	赤い羽根
発電機	新ダイワ G2400-B	60,409	1	60,409	2005/07/25	赤い羽根
インパクトセットと本体のみ	マキタ TP130D×2	83,953	1	83,953	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
刈払機	マキタ MEM264W	31,800	1	31,800	2007/09/16	まちづくりプレイヤー支援
エンジン・チェーンソー	新ダイワ E1039S-400	70,000	1	70,000	2007/10/10	H19年度森林づくり活動
スライド丸ノコ	マキタ LS0611	63,000	1	63,000	2008/07/25	ふるさと愛の基金
ラミネーター	日本 GBC GLM210	10,950	1	10,950	2008/07/25	ふるさと愛の基金
刈払機	マキタ MEM264L	31,800	1	31,800	2008/08/15	H20年度森林づくり活動
エンジン・チェーンソー	スチール MS-200	68,600	1	68,600	2009/07/30	H21年度森林づくり活動
テーブルソー	E-Vale ETS-10KN	17,500	1	17,500	2009/09/20	H21年度森林づくり活動
グラインダー	日立	7,777	1	7,777	2009/10/03	H21年度まちづくりプレイヤー支援
A3ラミネーター	オム電気 LAM-902N	5,477	1	5,477	2009/10/29	H21年度森林づくり活動
刃物グラインダー		13,152	1	13,152	2010/07/10	H22年度森林づくり活動
チップ・シュレッダー	大橋 GS121GB	1,330,350	1	1,330,350	2010/10/30	H22年度緑の募金
エアークンプレッサ	CP-100	11,575	1	11,575	2010/11/05	H22年度緑の募金

備品台帳（平成23年3月31日現在）

備品	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
ヘルメット	五心産業 GS-33	1,605	10	16,050	2005/05/31	日本財団
電工ドラム	畑屋製作所 E-30C	4,723	1	4,723	2005/07/25	赤い羽根
刈払作業用すねあて		1,980	2	3,960	2005/06/09	
防じんメガネ	トヨセーフティ No1400	1,974	3	5,922	2005/06/09	
飯盒		997	8	7,976	2006/07/22	ボランティア基金
ターフテント		9,978	1	9,978	2006/07/23	ボランティア基金
ターフテント		6,990	1	6,990	2006/08/02	ボランティア基金
トイレ用テント		4,179	1	4,179	2006/11/29	H18年度森林づくり活動
カタログスタンド	(チラシ広報用)	1,090	1	1,090	2006/11/29	H18年度森林づくり活動
砥石と砥石台		2,054	1	2,054	2007/03/04	H18年度森林づくり活動
クーラーボックス		3,477	1	3,477	2007/07/26	H19年度森林づくり活動
飯盒		997	2	1,994	2007/07/26	労金 NPO 助成
道具倉庫		9,750	1	9,750	2007/08/12	H19年度森林づくり活動
脚絆		1,012	20	20,240	2007/08/14	H19年度森林づくり活動
虫除けカバー		700	20	14,000	2007/08/14	H19年度森林づくり活動
携帯砥石		900	10	9,000	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
充電器セット	充電池4本含	3,978	1	3,978	2007/08/18	H19年度森林づくり活動
フェンソアタッチメント用レール	手作りのため材料費	3,392	1	3,392	2007/09/02	H19年度森林づくり活動
焼印電気こて	(子どもの森)	8,080	1	8,080	2007/11/05	労金 NPO 助成
双眼鏡	ニコン	6,500	1	6,500	2007/12/05	労金 NPO 助成
双眼鏡	ハンディ M10×21	3,150	14	44,100	2007/12/13	労金 NPO 助成
一輪車		5,880	1	5,880	2008/01/27	H19年度森林づくり活動
防じんメガネ	トヨセーフティ No1400	1,974	5	9,870	2008/08/15	H20年度森林づくり活動
セーフティヘルメット		3,438	12	41,256	2008/09/09	H20年度森林づくり活動
本ボックス		2,500	10	25,000	2008/10/11	H20年度連合愛のキャンパ
座椅子		3,800	10	38,000	2008/10/11	H20年度連合愛のキャンパ
水タンク	100L	10,868	1	10,868	2008/10/25	H20年度連合愛のキャンパ
防水補助コード		1,480	1	1,480	2008/10/31	H20年度連合愛のキャンパ
ストーブ	トヨミツ	16,640	1	16,640	2009/02/09	H20年度県 NPO 協働事業
ヘルメット		2,350	15	35,250	2009/02/18	H20年度県 NPO 協働事業
箱メガネ		1,890	2	3,780	2009/07/10	H21年度セブンスイルボン
箱メガネ		1,700	4	6,800	2009/07/18	H21年度セブンスイルボン
飼育ケース		149	12	1,788	2009/07/25	H21年度セブンスイルボン
子供用ライフジャケット		2,153	12	25,830	2009/08/31	H21年度黄色いレシート
デブス調整器		3,410	1	3,410	2009/09/20	H21年度森林づくり活動
ホース	30m	4,977	1	4,977	2009/10/12	H21年度まちづくりプレイヤー支援
巻尺	10m	280	10	2,800	2009/11/13	H21年度まちづくりプレイヤー支援
タックエントハイトゲージ		3,476	10	34,755	2009/11/16	H21年度森林づくり活動
消火器		3,980	1	3,980	2009/12/16	H21年度連合愛のキャンパ
ヘルメット		2,400	10	24,000	2009/12/17	H21年度県 NPO 協働事業
羽釜、鍋、釜蓋		21,160	1	21,160	2009/12/23	H21年度セブンスイルボン
メガホン	壁掛け器具付き	12,500	1	12,500	2010/01/04	H21年度県 NPO 協働事業
温度計	非接触型	10,290	1	10,290	2010/01/06	H21年度連合愛のキャンパ
薪ストーブ・煙突	設置一式	131,215	1	131,215	2010/02/03	H21年度連合愛のキャンパ
ヘルメット		2,400	5	12,000	2010/06/15	H22年度森林づくり活動
ライフジャケット	幼児用	1,990	3	5,970	2010/07/10	H22年度まちづくりプレイヤー支援
ライフジャケット	フリーサイズ	2,380	10	23,800	2010/07/23	H22年度まちづくりプレイヤー支援
ライフジャケット	フリーサイズ	2,380	10	23,800	2010/07/23	H22年度協働モデル事業
ライフジャケット	フリーサイズ	2,380	10	23,800	2010/07/23	H22年度協働モデル事業
箱メガネ		1,700	10	17,000	2010/07/23	H22年度まちづくりプレイヤー支援
コンテナカー		7,700	1	7,700	2010/08/14	H22年度森林づくり活動
ハロゲンランプ		4,980	1	4,980	2010/12/05	H22年度協働モデル事業

道具台帳（平成23年3月31日現在）

道具	メーカー品名	取得価格	数量	金額	取得年月日	使用助成金等
枝打ち梯子	ヒカ SWE302 (3m)	17,745	1	17,745	2005/06/29	日本財団
造林鎌 (100センチ)		4,800	3	14,400	2005/06/18	日本財団
造林鎌 (70センチ)		2,900	4	11,600	2005/06/18	日本財団
中厚鎌 (195)		1,253	1	1,253	2005/06/18	日本財団
中厚鎌 (165)		1,449	2	2,898	2005/06/18	日本財団
腰鉈 (6寸)		4,505	1	4,505	2005/06/18	日本財団
腰鉈 (5寸)		4,106	1	4,106	2005/06/18	日本財団
鋸		2,762	2	5,524	2005/06/18	日本財団
畑鍬		3,413	1	3,413	2005/06/18	日本財団
十字鍬		3,990	1	3,990	2005/06/18	日本財団
高枝はさみ		6,500	1	6,500	2005/06/18	日本財団
剪定はさみ		2,580	1	2,580	2005/06/18	日本財団
刈込はさみ		2,142	1	2,142	2005/06/18	日本財団
手鍬		924	3	2,772	2006/03/19	
ハンマー大		3,020	1	3,020	2006/01/21	
ハンマー		924	1	924	2005/12/07	
竹挽き鋸		2,079	2	4,158	2006/07/22	ボランティア基金
折込鋸		1,029	3	3,087	2006/07/22	ボランティア基金
高枝はさみ		1,956	3	5,868	2006/11/28	ボランティア基金
剪定はさみ		387	10	3,870	2006/11/28	ボランティア基金
造林鎌 (70センチ)		2,982	13	38,766	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
腰鉈 (6寸)		4,505	1	4,505	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (35号)		3,759	1	3,759	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (40号)		3,822	1	3,822	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鋸		2,762	2	5,524	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
十字鍬		3,812	4	15,248	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
スコップ		1,554	2	3,108	2006/12/05	H18年度森林づくり活動
鉈 (30号)		3,665	2	7,330	2006/12/24	H18年度森林づくり活動
熊手		2,037	3	6,111	2007/03/04	H18年度森林づくり活動
スコップ		1,750	2	3,500	2007/08/15	H19年度森林づくり活動
スモールログミル	グラハム・ク製ソール G777	23,760	1	23,760	2007/08/24	H19年度森林づくり活動
チェーンソーバデー		7,900	1	7,900	2007/08/24	H19年度森林づくり活動
パール	120cm	2,350	1	2,350	2008/03/29	H19年度森林づくり活動
パール	120cm	2,350	1	2,350	2008/12/14	H20年度森林づくり活動
片手ケヤカ		1,418	4	5,672	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
2丁差鉈 (7寸)・鋸		11,477	4	45,908	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
片手鎌	185mm	1,344	4	5,376	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割鉈	180mm	3,032	4	12,128	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹挽鋸	TB-27	2,293	2	4,586	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割器	大8割	5,229	1	5,229	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
充電式チェーンソー砥器		10,000	1	10,000	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
パール	150cm	3,980	1	3,980	2009/08/15	H21年度森林づくり活動
竹割器	大6割	5,480	1	5,480	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	中3割	2,180	1	2,180	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	小3割	1,750	1	1,750	2009/10/05	H21年度森林づくり活動
竹割器	大4割	4,480	2	8,960	2009/11/11	H21年度森林づくり活動
溝カンナ		2,475	1	2,475	2010/11/21	H21年度ボランティア
穴掘り器		3,980	1	3,980	2010/03/31	
造林鎌 (70センチ)		3,278	5	16,390	2010/08/21	H22年度森林づくり活動
斧 (1.5k)		6,983	1	6,983	2010/08/21	H22年度森林づくり活動
竹割器	大6割	5,477	1	5,477	2010/09/29	H22年度森林づくり活動



事務局：宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘 2-2

TEL/FAX 0982-95-7800

<http://www.kodomonori.info>

[office09@kodomonori.info](mailto:office09@kodomonori.info)

森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 080-26965180